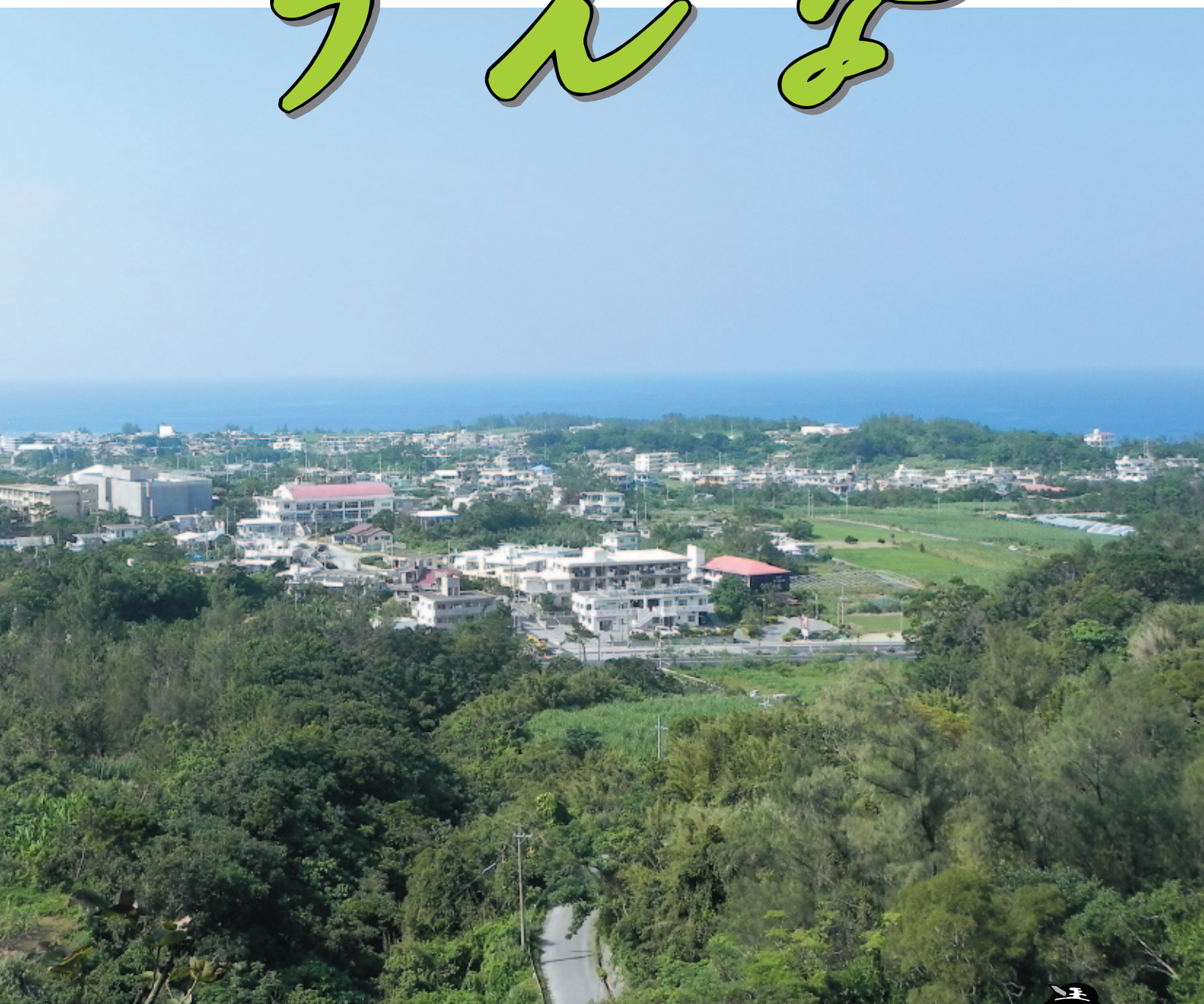


議会だより

うんなび



もくじ

- 議会から見た
恩納村の財政運営 P 1
- トピックス P 3
- 審議結果一覧 P 5
- 一般質問 P 10
- 議会の動き
編集後記 P 17

シリーズ字の自慢（第20回）山田

国道58号線から東側に見える標高約90mの岩山の上には、護佐丸が青年時代を過ごした山田城址があり、15世紀ごろ城下には、武士から百姓に至るまで住居を構えていたとされている古い屋敷跡の石垣なども残っている。

また、ウーグワ一町と言われている豚のセリ市場を中心に商業が成り立ち賑わっていた。

最近では山田区でも、歴史の道ウォーキング

城下の村山田

なども行われ恩納村文化財案内人（道の会）の説明を聞き歴史の息吹を感じながらの健康ウォーキングなども行っている。

平成20年には、国の重要文化財に指定されるなど観光地恩納村の玄関口となっており今後の復元が楽しみです。

記事担当委員 又吉 貢



情熱の歌人
うんなび

の財政運営 みんなで考える村の財政 現状と課題

平成22年度の決算概要

●一般会計

平成22年度の一般会計の収入総額は79億6千万円、支出総額は75億9千万円でした。収入と支出の差額は3億7千万円で翌年度に繰り越すべき財源を1億5千万円含んでおり、これは既に使い道が決まった財源です。

実質収支は2億2千1百万円で、単年度収支も2千8百万円となり黒字の財政運営です。しかし、予算は収支均衡ですので、黒字という事は予算を執行しなかったか、見積もり以上の収入があったこととなります。

企業では黒字が多いほどよい業績となりますが、自治体財政は収支のバランスが取れていることが大事とも言われます。

●特別会計

特別会計も黒字決算となりましたが、単年度ベースでは、下水道会計以外はマイナスを計上しました。国保会計は、歳入総額15億1千万円の内、国保税収入が約2億2千万円、国庫支出金が約9億円と

なります。また、一般会計からの繰入金金が2億1千万円もあり、単独での運営は厳しい状況にあります。一方、国保税の未納が2千4百万円あります。国保会計は相互扶助の精神で皆で支えたいものです。

(単位：百万円)

会計	区分	歳入	歳出	差額	繰越財源	実質収支	単年収支
一般会計		7,955	7,586	369	148	221	28
特別会計	国民健康保険	1,506	1,487	19	0	19	△126
	老人保健	1	1	0	0	0	△1
	後期高齢医療	90	90	0.5	0	0.5	△2
	下水道会計	453	446	7	0	7	5

(単位：百万円)

経費	人件費	1,113	15%
	扶助費	551	7%
	公債費	383	5%
	物件費	1,041	14%
	維持補修費	53	1%
	補助費等	1,189	16%
投資的経費	2,145	28%	
その他経費	1,111	14%	
歳出総額	7,586	100%	

●収入と支出のバランスはどうか、今後の課題は

平成22年度、村に入ってきた経常的収入は、村の自主財源38億円と国などからの補助金約10億円の合計49億円がありました。一方、村は43億円の経常的経費が必要でした。自主財源のみでは不足し国や県からの補助金で補ったこととなります。

ただし、全国の殆どの地方自治体は国から補助金を受けており、それは国が集めた税金から配分を受ける当然の権利と考えてよいか

と思います。

しかしながら村の自主財源の中には16億円を超える軍用地料が含まれており、他市町村と比較しても恵まれた環境にあります。大切に使うとともに村民税等のほかの自主財源を増やし、軍用地料に過度に依存しない財政運営を考えなければなりません。

今後の高齢化社会や所得格差など、社会保障費を含めた経常的経費がさらに必要となることが予測されます。扶助費や人件費は簡単には削れません。借金も返済義務があります。

今後は事務事業の効率化や合理化で物件費の削減や補助費等の見直しを図るなど行財政改革への不

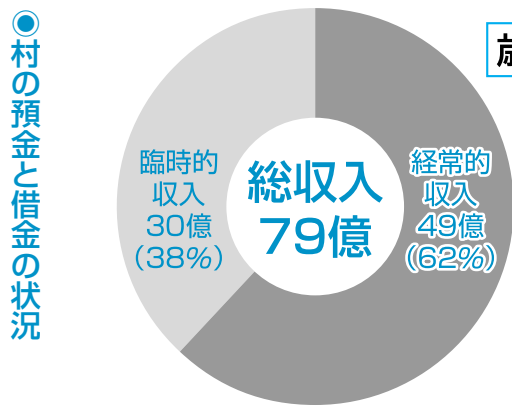
断の努力が必要かと思えます。自主的に自由に福祉政策や新たな事業ができる度合いを示す経常的収支比率は75.4%で75%以下に収まればよいとされています。75%を大きく超える市町村もあるなか良好と言えます。その他の財政指数も良好で、健全な財政運営であったといえます。

議会から見た恩納村

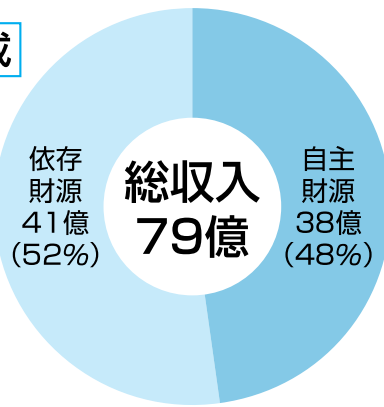
決算特別委員会認定

●**村の預金と借金の状況**

平成22年度現在、村には約32億円の預金と約48億円の借金があり、借金（元金）に支払い利息を加えると更に借金は膨らむこととなります。



歳入の構成



平成22年度の水道事業会計は事業収益は4億7千1百万円、事業費用は4億9千1百万円で2千万円の損失を計上し赤字決算となりました。総配水量に対する有収率は86.9%で、もし有収率が100%であれば平成22年度の給水収益は7千万円増えて純利益が5千万円あったこととなります。

有収率の低下の原因として、配水管の老朽化による漏水や各家庭・事業所等の計測メーター不良による過小計測があるといわれ、もったいない話であり早急な改善

水道事業会計

預金金利が超低金利の時代、運用益や将来の債務負担を考えると預金の一部を借金返済に充てるほうが得かもしれません。しかし、借金（村債）を繰上償還すると、最終期日までに相当する支払利息を補填金として支払義務が発生し、繰上償還もままなりません。それでも今後は借金の圧縮を迫られるときがくるかもしれません。皆さんはどう考えますか。

1. 収益的収支 (単位：百万円)

収 益	471
費 用	491
差引差額	△ 20

2. 資本的収支 (単位：百万円)

収 入	38
支 出	157
不 足 額	△ 119

策が望まれます。平成22年度決算を資金収支面から見ますと、減価償却費9千9百万円は現実の金銭支出がなく、その点を考慮すると7千8百万円の利益の計上があったとの考え方がありますが、減価償却費は設備投資時点の経費を一括計上せず、将来にわたって経費を按分したものであり、該当年度分の老朽化による補修経費として支出があったと考えたほうが堅実です。

また、平成22年度の決算を資本的収支面から見ますと、1億1千9百万円が不足し、過去の積立金を取り崩して補填しております。過去5年間は収支不足となっており、水道拡張工事や改良工事には多額な経費が必要となっております。

恩納村の将来を考えてみませんか

恩納村は将来的には高齢化社会に向かって、社会保障費等の支出の増加が予測されます。また、中学校統合や図書館建設（設置）も検討され、下水道事業等の大型の設備投資も進めています。箱物建設は資金の一部を借金で調達することになるかもしれません。維持管理費など更に経常的経費が必要となります。

中学校を統合した場合の空き教室などの既存施設の効果的な利用や更なる行政改革、また、村民も自らできる事は行政に頼らない協働の村づくりを考える事が大事か

記事担当委員 又吉 薫

トピックス

委員会発

意見書

審査

地場産品及び地元企業の

優先使用の要請（委員会発第8号）

経済建設民生委員会

沖縄県は昭和59年に「県内企業への優先発注及び県産品の優先使用基本方針」を策定しました。

沖縄県は昭和59年に「県内企業への優先発注及び県産品の優先使用基本方針」を策定しました。決し全委員が村長室を訪れて村長に直接要請を行いました。

村商工会の陳情では、村

記事担当委員 宮崎 豊

内においても地元企業の優先使用については従前より推進しているところですが、現状は技術や資本不足等の面で不利な状況にあるとのことです。

議会として村内企業の育成、発展を図るために9月定例会で、「地元産品及び地元企業の優先使用に関する要請決議」を可



議会からの村長への要請

北部地域における沖縄県救急医療用ヘリコプターの導入に関する要請（委員会発第6号）

総務財政文教委員会

北部地域は医療過疎地が散在し、救命率向上に向けた救急医療体制の充実が強く求められています。本地域ではこれまでに平成19年6月より民間が救急ヘリコプターを導入し、多くの実績があげられ救命率の向上と後遺症の軽減が図られたことはすでに明らかです。

しかしながら、民間救急ヘリコプターの継続・運営は厳しい状況にあります。医療体制の改善を図るとともに中南部地域との医療格差をなくし、安心して暮らせるよう、沖縄県救急医療用ヘリコプターの2機目を北部地域に導入していただくよう沖縄県知事に要請しました。

記事担当委員 長浜善巳

暴力団排除条例の制定

（議案第53号）

恩納村暴力団排除条例特別委員会

この条例は、沖縄県暴力団排除条例の趣旨を踏まえ、村や村民等が積極的に暴力団排除活動の推進を図り、村民が安全で平穏な生活を確保するために制定するものです。

審査の中で、委員から罰則規定について質疑があり、「村条例には規定はないが、沖縄県条例には明記されているので、これで対処していく。条例制定後は、協定書を県条例に遵守して作成する」との説明でした。審議の結果、全会一致で可決となりました。

記事担当委員 宮崎 豊

基地問題 対策委員会

日米地位協定の 抜本的な改定を 求める

委員会発第5号

平成23年1月に発生した
在沖米軍軍属の運転する車
両と、北中城出身の当時19
歳の男性が運転する軽自動
車の事故で、自動車運転過
失致死罪で送検された軍属
の男性は、「公務中」という
ことで不起訴処分となった。
恩納村議会としては、治
外法権的な米軍の特権を断
じて容認できないとして、
日本国内法の適用とその遵
守を義務付けるとした要望
決議書を内閣総理大臣他、
国の関係機関9か所に提出
しました。

記事担当委員 宮崎 豊

垂直離着陸輸送機

MV-22

オスプレイ

配備に反対する

委員会発第4号

米海兵隊は普天間飛行場
に垂直離陸輸送機MV-22
オスプレイを2013年10
月までに合計で24機配備す
る計画を発表しました。

同飛行場は世界一危険な
飛行場と言われ住宅地など
のど真ん中にあります。同
飛行場は移設返還合意を見
ているところでありオスプ
レイ配備は普天間基地の固
定化につながり負担軽減を
強く求める沖縄県民の感情
を逆なでするものです。恩
納村議会は垂直離着陸輸送
機MV-22オスプレイの配
備強く反対する意見書を内
閣総理大臣他、関係機関に
提出しました。

記事担当委員 長浜善巳

不発弾処理等 に関する意見書

(委員会発第7号)

基地問題対策委員会



仲泊海岸付近の住宅地で
発見された米国製15インチ艦砲弾

戦後66年、未だに残る2
千3百トンもが埋没すると
推測される不発弾。平成21
年、糸満市の工事現場での
爆発事故を契機に創設され
た「沖縄県不発弾処理安全
基金条例」で新たな対策が
講じられた。しかし、今年
9月に南風原町で避難区域
にある病院で、一部の患者
と入所者を残したまま不発
弾処理が実施されました。
このことによって、費用負
担などの多くの問題が明ら
かになりました。

村内においても、7月に
住宅新築工事現場から不発
弾が発見され、付近の住民
が避難し処理されました。
恩納村議会としては、村民
県民の生命・財産・生活の安
全を守る立場から次にあげ
る4項目を求める意見書を
内閣総理大臣他、国の関係
機関7か所に提出しました。

記事担当委員 宮崎 豊

● 要請項目

- ① 公共・民間工事を問わ
ず、磁気探査を義務化
し、探査及び処理に係
る費用のすべてを全額
国庫負担とすること。
- ② 避難等による住民の経
済的損失を補償するこ
と。
- ③ 不発弾撤去を加速化す
る仕組み作りを早急に
図り実施すること。
- ④ 不発弾処理に関する法
律を速やかに制定する
こと。



鉄製プレート、大型土のうで補強して行われた処理作業

議案等の審議結果一覧

平成23年第6回臨時議会

平成23年8月25日

議案番号	件名	議案等の概要	結果
議案第52号	恩納村税条例の一部を改正する条例の専決処分につき承認を求める。	地方税法、同法施行令、及び施行規則の一部が改正され平成23年6月30日から施行されるため専決処分て村条例の一部を改正する。 不申告に係る過料が3万円から10万円になる。	原案可決 (全会一致)
推薦第1号	恩納村農業委員会委員の推薦	議会推薦の農業委員会委員は、次の4名とする。 住所：恩納村字喜瀬武原 氏名：大嶺 順治 住所：恩納村字瀬良垣 氏名：當山 安寿 住所：恩納村字富着 氏名：米須 清正 住所：恩納村字真栄田 氏名：吉田 兼師	決定 (全会一致)

平成23年第7回定例議会

平成23年9月9日～21日

議案番号	件名	議案等の概要	結果
議案第53号	恩納村暴力団排除条例の制定	村や村民等が、暴力団排除活動を行い、又はこれを推進するための責務や活動に関する施策等を明確に定める。	原案可決 (全会一致)
議案第54号	恩納村立学校給食センターの設置、管理及び職員に関する条例の一部を改正する条例	機構改革により学校教育課と社会教育課を統合し教育課としたことから、給食センターの所長を学校教育課から教育課長に改める。	原案可決 (全会一致)
議案第55号	平成23年度恩納村一般会計補正予算(第2号)	収入、支出の総額は4億6,938万円を追加し、総額64億3,795万円とする。 歳入：地方交付税や前年度繰越金の増額補正	原案可決 (全会一致)
議案第56号	平成23年度恩納村国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	歳入歳出予算の総額に2,090万円を追加して、総額13億9,374万円とする。 歳入：前年度繰越や療養給付等交付金の増額補正	原案可決 (全会一致)
議案第57号	平成23年度恩納村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	歳入歳出予算の総額に57万円を追加して、総額9,344万円とする。 歳入：前年度繰越による増額補正	原案可決 (全会一致)
議案第58号	平成23年度恩納村下水道事業特別会計補正予算(第2号)	歳入歳出予算の総額に677万8千円を追加して、総額6億6,791万9千円とする。 歳入：前年度繰越による補正 歳出：修繕費への積立金	原案可決 (全会一致)

議案番号	件 名	議 案 等 の 概 要	結 果
議 案 第 59 号	平成23年度恩納村水道事業会計 補正予算（第2号）	収入、支出の総額は5億1,346万円と変わらず。 水道事業費の資本的支出に4,562万円を増額し予 定額を2億137万円とする。 支出：水道管移設工事、塩屋水管橋修繕、真栄田 ポンプ施設設置、谷茶排水無停電装置設置 工事。	原案可決 (全会一致)
議 案 第 60 号	仲泊畑地かんがい施設工事請負 契約	契約の目的：仲泊畑地かんがい施設工事 契約の方法：指名競争入札11社 契 約 金 額：1億1,103万7,500円 請 負 者：恩納村山田 (有)名城組	原案可決 (全会一致)
議 案 第 61 号	土地使用貸借契約の締結	沖縄化学技術大学院大学が独立行政法人から学 校法人への移行によることから新たに土地使用貸 借契約を締結する。 契約金額：無償貸借 面 積：62万8,910㎡	原案可決 (全会一致)
議 案 第 62 号	恩納村の公平委員会の事務の委 託に関する規約を定める	村は公平委員会の事務を沖縄県に委託します。 委託事務に要する経費は沖縄県が支弁し、ただ し、その費用については恩納村が負担する。	原案可決 (全会一致)
議 案 第 63 号	北部広域市町村圏事務組合規約 の変更	事務所位置の地名の変更「名護市字宇茂佐」か ら「名護市字宇茂佐の森」に改める。	原案可決 (全会一致)
議 案 第 64 号	恩納村立赤間屋外運動場新築工 事（建築1期工事）請負契約	契約の目的：恩納村立赤間屋外運動場新築工事 （建築1期工事） 契約の方法：指名競争入札8企業体（3JV） 契 約 金 額：3億5,173万9,500万円 請 負 者：(株)仲本工業、(有)丸宮組、(有)山城組 建設工事共同企業体	原案可決 (全会一致)
認 定 第 1 号	平成22年度恩納村一般会計歳入 歳出決算の認定	別紙記事参照 歳入決算額：79億5,555万9,235円 歳出決算額：75億8,618万 818円 繰越し財源：1億4,807万5,000円 実 質 収 支：2億2,130万3,417円	認 定 (全会一致)
認 定 第 2 号	平成22年度恩納村国民健康保険 特別会計歳入歳出決算の認定	別紙記事参照 歳入決算額：15億 601万2,651円 歳出決算額：14億8,747万7,442円 実 質 収 支： 1,853万5,209円	認 定 (全会一致)
認 定 第 3 号	平成22年度恩納村老人保健特別 会計歳入歳出決算の認定	別紙記事参照 歳入決算額：140万4,302円 歳出決算額：140万4,302円 実 質 収 支： 0円	認 定 (全会一致)
認 定 第 4 号	平成22年度恩納村後期高齢者医 療特別会計歳入歳出決算の認定	別紙記事参照 歳入決算額：9,070万8,170円 歳出決算額：9,013万6,640円 実 質 収 支： 57万1,530円	認 定 (全会一致)

議案番号	件 名	議 案 等 の 概 要	結 果
認 定 第 5 号	平成22年度恩納村下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	別紙記事参照 歳入決算額：4億5,349万5,404円 歳出決算額：4億4,662万1,191円 繰越し財：9万5,000円 実質収支：677万9,213円	認 定 (全会一致)
認 定 第 6 号	平成22年度恩納村水道事業決算の認定	別紙記事参照 収益的収入：4億9,520万6,656円 収益的支出：5億1,168万5,464円 資本的収入：3,740万3,000円 資本的支出：1億5,723万9,472円 留保資金補填：1億1,983万6,472円	認 定 (全会一致)
諮 問 第 1 号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求める	住所：恩納村字恩納 氏名：小谷 久美	同 意
諮 問 第 2 号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求める	住所：恩納村字仲泊 氏名：大城 肇	同 意
報 告 第 6 号	平成22年度決算に基づく恩納村健全化判断比率及び資金不足比率の報告	○実質赤字比率は「－」で早期健全化基準15%を下回り良好な状態 ○連結実質赤字比率も「－」で基準の20%から下回っていて良好 ○実質公債比率は9.5%で基準の25%を下回り良好 ○将来負担比率は「－」で基準の350%を下回り良好	報 告
報 告 第 7 号	平成22年度沖縄県町村土地開発公社事業報告及び決算報告	年度内の取得面積は3万6,273㎡ 取得金額：10億4,278万9千円	報 告
委員会発 第 4 号	垂直離着陸輸送機MV-22オスプレイ配備に反対する意見書	別項記事参照	可 決 (全会一致)
委員会発 第 5 号	日米地位協定の抜本的な改定を求める要望決議	別項記事参照	可 決 (全会一致)
委員会発 第 6 号	北部地域における沖縄県救急医療用ヘリコプターの導入に関する要請	別項記事参照	可 決 (全会一致)
委員会発 第 7 号	不発弾処理に関する意見書	別項記事参照	可 決 (全会一致)
委員会発 第 8 号	地元産品及び地元企業の優先使用に関する要請決議	別項記事参照	可 決 (全会一致)

■ 請願及び陳情に関する取り扱いについて

番号・受付日	件 名	処 理 結 果
陳情第13号 平成23年7月8日	漁業用燃油にかかる軽油取引税の免税等に関する国への意見書提出を求める請願書 「水産物の安定供給、経営安定を維持するため、軽油取引税の免税や還付処置の恒久化を求める。また地球温暖化対策税は漁業者の負担増にならないよう処置すること」	第7回定例会 資料配布
陳情第14号 平成23年7月12日	地元産品奨励及び地元企業優先使用への陳情 (別項記事参照)	第7回定例会 採 択
陳情第15号 平成23年8月3日	沖縄の国連加盟に関する請願書 「日本が日米軍事同盟を持って、沖縄（琉球）に行っている非人道的政策を終結させる。沖縄（琉球）が本来持つべき権利をもって、国際社会で平和に生存するために」	第7回定例会 資料配布

平成23年第8回臨時議会

平成23年11月2日

議案番号	件 名	議 案 等 の 概 要	結 果
議 案 第 65 号	平成23年度恩納村一般会計補正 予算予算（第3号）	収入、支出の総額は8,155万円を追加し、総額65億1,951万円とする。	原案可決 (全会一致)
議 案 第 66 号	平成23年度恩納村水道事業会計 補正予算（第3号）	水道事業費の資本的支出に305万円を増額し、 予算額を2億412万円とする。 支出：量水器購入、取替委託料	決 定 (全会一致)
議 案 第 67 号	村道仲仙道線整備工事請負契約 について	契約の目的：村道仲仙道線整備工事 契約の方法：指名競争入札11社 契 約 金 額：4,651万5,000円 請 負 者：恩納村富着 (有)山量建設	決 定 (全会一致)

■ 組合議会の報告

受付日	事 務 組 合	報 告 の 内 容	結 果
平成23年 7月28日	中部北環境施設 組合議会 第50回 (臨時会)	<input type="checkbox"/> 議案第3号 スtockヤード建設工事（与那城工場解体を含む）請負契約 契約の方法：指名競争入札（指名：16JV） 契 約 金 額：1億8,879万円 契約の相手：(株)シンコウハウス工業・(有)清光建設 特定建設工事 共同企業体 概 要：Stockヤード面積150平方m 構 造：鉄骨造 解 体：旧与那城工場 1,360平方m	可 決

受付日	事務組合	報告の内容	結果
平成23年 8月15日	沖縄県後期高齢者医療広域連合 議会 第2回 (定例会)	<input type="checkbox"/> 同意議案第1号 沖縄県後期高齢者医療広域連合の識見を有する監査委員の選任 住所：那覇市国場 氏名：翁長 朝常	同 意
		<input type="checkbox"/> 議案第7号 沖縄県後期高齢者医療広域連合の公平委員会の事務の委託に関する規約を定める協議 <input type="checkbox"/> 議案第8号 平成23年度沖縄県後期高齢者医療広域連合一般会計補正予算(第1号) 歳入歳出予算の総額にそれぞれ2,179万3千円を追加し、総額2億9,257万7千円とする。 <input type="checkbox"/> 議案第9号 平成23年度沖縄県後期高齢者医療広域連合特別会計補正予算(第1号) 歳入歳出予算の総額にそれぞれ28億9,087万2千円を追加し、総額1,182億9,788万4千円とする。	原案可決
		<input type="checkbox"/> 認定第1号 平成22年度沖縄県後期高齢者医療広域連合一般会計歳入歳出決算の認定 <input type="checkbox"/> 認定第2号 平成22年度沖縄県後期高齢者医療広域連合特別会計歳入歳出決算の認定	認 定
平成23年 8月22日	沖縄県介護保険 広域連合議会 第31回 (定例会)	<input type="checkbox"/> 副議長の選挙 推薦により宮城寛議員(南風原町)	同 意
		<input type="checkbox"/> 議案第7号 沖縄県介護保険広域連合指定金融機関の指定 金融機関の名称：(株)琉球銀行 <input type="checkbox"/> 議案第8号 平成23年度沖縄県介護保険広域連合一般会計補正予算(第1号) 歳入歳出予算の総額にそれぞれ4,153万6千円を追加し、総額9億6,310万円とする。 <input type="checkbox"/> 議案第9号 平成23年度沖縄県介護保険広域連合特別会計補正予算(第1号) 歳入歳出予算の総額にそれぞれ6億6,310万1千円を追加し、総額246億3,800万6千円とする。	原案可決
		<input type="checkbox"/> 認定第1号 平成22年度沖縄県介護保険広域連合一般会計歳入歳出決算の認定 <input type="checkbox"/> 認定第2号 平成22年度沖縄県介護保険広域連合特別会計歳入歳出決算の認定	認 定
平成23年 8月25日	金武地区消防衛生事務組合 第3回 (定例会)	<input type="checkbox"/> 議案第4号 平成23年金武地区消防衛生事務組合一般会計補正予算(第2号) 既定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ4,207万4千円を追加し、総額7億8,874万1千円とする。	原案可決

※議会だより 109号 14ページの組合議会の報告「議員第6号」を「議案第6号」、東日本大震災被災地視察「某ホテル厳寒」を「某ホテル玄関」に訂正いたします。

記事担当委員 長嶺律夫

一般質問

Onna Village Assembly

第7回恩納村議会定例会 平成23年9月15日・16日

今回の一般質問の状況

〔○は今回掲載された質問です〕

仲田 豊 議員 ☎967-8338 P-11

- 少子化対策について
- 心の病（うつ病、産後うつ対策）の取り組みについて
- LED照明について

又吉 薫 議員 ☎966-2911 P-14

- キャンプハンセン演習場軍用道路への今後の対応方について
- 財政運営（安定した財源確保）について

山内 鈴子 議員 ☎964-3468 P-11

- お年寄りの台風対策について
- かがやき分別作業所の建設問題について
- 沖縄本島民俗芸能祭について

當山 君子 議員 ☎967-8508 P-14

- 高齢者虐待の防止に関するネットワーク体制について
- 本村の要支援・要介護認定者の状況について
- 億首ダムの関連事業に伴う県道104号線の付替えについて

長浜 善巳 議員 ☎965-2100 P-12

- 人材育成について
- 学校給食と食育について

長嶺 律夫 議員 ☎966-2750 P-15

- 福祉施設の設置について
- ウチナーンチュ大会について
- 水道広域化について
- 消防の広域化について
- 浄化槽補助について

金城 弘 議員 ☎967-8018 P-13

- 県民の森について
- 外来種ジャンボタニシによる水田作物被害について

吉山盛次郎 議員 ☎965-0669 P-16

- 指定管理制度の運用について
- 村内の学校で使用する教科書採択について
- 自然災害の危機管理について

山城 良一 議員 ☎965-5513 P-13

- 漁港管理について

喜納 正誠 議員 ☎966-2458

- 指定管理者制度について

議会だよりに掲載されている一般質問の内容は、会議録に基づいて各議員が600字以内にまとめ、議会広報委員会が会議録で最終確認したものを掲載しております。

議会会議録は議会事務局、各字公民館でご覧いただけます。
また、村ホームページ（会議録）からも検索できます。

仲田 豊 議員

少子化対策について

質 仲田 豊 議員

不妊治療には、特定と一般治療に分かれている。制度内容を説明をお願いします。

答 福祉健康課長 大城保篤

一般治療の助成制度はございません。初期の保険診療範囲であれば3割負担で治療ができ、特定治療の助成実施主体は県で助成期間は5年間で、金額は1回につき15万円となっており治療1年間で3回までで、治療2年以降は2回、回数は10回まで限定されています。夫婦の合計所得が730万円未満で、県の助成要件を満たす者と示されています。

質 仲田 豊 議員

隣の宜野座村で、独自に県の助成に上乗せして単年度あたり15万円を上限として3年間支給するこ

とが可決されました。

当村でも不妊治療に悩む夫婦に対し助成制度を設けたら大変喜ばれると思います。村長の考えを伺います。

答 村長 志喜屋文康

宜野座村を参考にし村として、今一度県内の状況を見ながら、もっといい方法はないか勘案しながら検討させていただきたい。

心の病・うつ病対策の取り組みについて

質 仲田 豊 議員

心の習慣病と呼ばれストレスの多い現代では多い病気にあげられ、急増する自殺者の最大の原因はうつ病で対策の強化が必要とされておりあります。

うつ病に対する正しい理解と早期発見の啓発活動の方策はあるのか伺います。

答 福祉健康課長 大城保篤

早期発見等に鋭意努力しています。うつ病や引きこもりの相談を受けた場合、地域福祉系の相談員が訪問を行い直接本人や家族の相談にのり、必要な場合は医療機関への受診につなげ早期に発見治療に努めております。

平成20年度からうつ病や心の病に関する講演会を毎年実施しており、予防啓発活動を展開しています。

山内鈴子 議員

お年寄りの風対策について

質 山内鈴子 議員

65歳以上の一人暮らしのお年寄りは何名いらっしゃるか。

答 福祉健康課長 大城保篤

平成22年10月現在、男性175人、女性345人です。

質 山内鈴子 議員

一人暮らしのお年寄りの台風対策について、これまでどのようなことを検討されてきたのか。また、今後の対策について伺います。

答 福祉健康課長 大城保篤

平成15年に恩納村災害弱者救助マニュアルを作成し同マニュアルに沿って、毎年4月書き換えをして、防災上の危険回避の方法について、民生児童委員等の協力を得て、被災防止の周知に努めています。

質 山内鈴子 議員

介護度3から5のお年寄りも台風の際には、家族の介護は大変だと思えます。

答 福祉健康課長 大城保篤

高齢者福祉地域福祉系の家庭訪問、電話連絡等で予防的な対応を実施しています。

質 山内鈴子 議員

台風発生の場合介護認定3から

5の認定を受けているお年寄りは、発電機のある養護老人ホームへの入居の対応はできないか。

答 福祉健康課長 大城保篤

老人ホームとは、既に契約を交わされており利用が可能となっております。

かがやきの分別作業所の建設問題について

質 山内鈴子 議員

炎天下でアルミ缶、ペットボトルの分別作業をやっている状況を見てみると、これが恩納村の障害者福祉なのかと思うものです。

健常者同様に働きやすい環境づくりをするのが、行政の役目ではないかと思うのですが、今後も炎天下でアルミ缶、ペットボトル等の分別作業を実施させていくのか。

答 福祉健康課長 大城保篤

炎天下の作業はないと思いまし

たが、アルミ缶、ペットボトルの受入量の増加により分別作業が生じている状況にあることから、委託先の社会福祉協議会と調整いた

しまして改善したいと思えます。

長浜善巳 議員

人材育成について

質 長浜善巳 議員

子ども達は自分を表現できる場所、活躍できる場所を多く設けることが大事。うんなまつりの一部分、子ども達に独自に運営を任せ

答 商工観光課長 平良幸夫

出演者を取りまとめることができる方がいれば検討したい。

質 長浜善巳 議員

うるま市で石川まつりが開催された。行政の力を頼らず青年達の皆さんでやった。青年会が中心になって企画、駐車場係、会場のゴ

ミ拾い舞台の催し物、みんなボランティアで行った。村の方でも恩

学校給食と食育について

答 商工観光課長 平良幸夫

組織力が弱い。

質 長浜善巳 議員

石川の青年団協議会、アドバイ

答 村長 志喜屋文康

3月あたりから組織作りをして動くというのであれば可能性はあるのかと。それについては教育委員会、校長先生あるいはPTA、父兄の方々の意見等も出てくる。慎重に対応しながら検討。

質 長浜善巳 議員

村の補助金も拠出して運営している学校給食、食べ残しの調査をしたことはあるか。

答 教育課長 當山欽也

調査は毎年小中学校各1校を指定して年2回、1週間の期間を定めて行っております。この調査結果に基づいて以後の献立等の参考にしております。

質 長浜善巳 議員

学校では食べ残し、どのような指導をしているか。

答 教育長 石川哲夫

完食した子ども達、褒めてあげるシステムもある学校では取り組んでおります。

質 長浜善巳 議員

学級単位で給食完食したら給食センターがクラス表彰する企画は

できないか。

答 教育課長 當山欽也

学校とも調整しながら前向きに検討したい。

金城 弘 議員

県民の森について

質 金城 弘 議員

昭和61年に県民の森が開設され、歴代の村長の時代背景からして面積5万4千坪で賃貸を無償貸し付けを行った経緯があります。

入客数の経緯と今日まで恩納村は沖縄県と県民の森の有効利用について協議会を開催したことがあるかどうか。

答 農林水産課長 大城哲夫

平成22年度には17万1千人と報告を受け、契約更新の前年度については村の思いや今後の計画、活性化等の方策については話し合いは行っております。

質 金城 弘 議員

今後将来、県民の森の指定管理について見解をお聞きしたい。

答 村長 志喜屋文康

村の方々に組織を作っていたらいてやれるというものができるところ期待しております。次の契約に向けて村が事前に情報としてあれば、検討、協議ができると思います。

外来種ジャンボタニシによる水田被害について

質 金城 弘 議員

高い農薬を買って、ある程度、試験的をやってきている。特例として水稲部会と協議しながら早く対応策を見出さないと、大きな被害が生じます。どういう対応策をお持ちなのか。

答 農林水産課長 大城哲夫

県の職員とお話し、関係機関と

の指導あるいは水稲部会との地域ぐるみで計画的に防除することが

ベターだろうとお話をしておりました。

山城良一 議員

漁港管理について

質 山城良一 議員

前兼久漁港内の防暑施設に電気、水道、防犯灯の整備はできないか。

答 農林水産課長 大城哲夫

使い勝手が悪いということでしたら理事会等で議論していただいで、電気、水道代など組合が負担するということでご要請、要望等が組合からあれば、検討も必要であるかと思っております。防犯灯については、漁業組合と調整して増殖用作業保管施設の屋根に今年度防犯灯4基を設置したところがあります。また、南側の防暑施設付近については設置されていると

思いますが、今後の利用状況等を

みて漁業組合側と調整したいと思っております。

質 山城良一 議員

海ぶどう施設の周辺にトイレ、シャワーの設置はできないか。

答 農林水産課長 大城哲夫

観光漁業を目的とするトイレ、シャワーとなれば、漁業組合と協議し、施設用地等利用計画の変更計画書を作成し県、国に提出しなければなりませんので、大変厳しいと思っております。将来的には、中間あたりの、単独用地等に組合側と協議は必要と思っております。

質 山城良一 議員

漁港内をつり禁止にしてはどうか。

答 農林水産課長 大城哲夫

漁港内は航行に支障をきたしますので、つり禁止としております。注意喚起の看板を増やし、周知を図っていききたいと思っております。

質 山城良一 議員

漁港管理条例第9条、施設規則7条の実態は。

答 農林水産課長 大城哲夫

条例第9条については、目的にしたがい使用する者、あらかじめ村長に届出なければならぬと思っております。規則7条については、漁港施設使用届出書を村長に提出しなければならぬとなっております。漁業組合よりまとめて4つの漁港ごとに提出しております。

又吉 薫 議員

キャンプハンセン演習場進入道路の今後の対応方について

質 又吉 薫 議員

バイパス開通後は国道58号線とのアクセス道路として一般車両の交通が増加傾向にあります。

レンジ7向け道路で一部土砂崩れ

やガードレール設置が必要と思われる場所があり、道路補修の必要性やその他の問題が生じた場合どのような対応を考えているか。

答 企画課長 佐渡山安正

交通量の増加に伴い安全性が懸念されているが、村も看板設置等対策を講じている。

道路の一部に崩壊箇所がありますが、特殊事情に配慮し関係機関と協議のうえ必要に応じ対策を講じます。

財政運営（安定財源の確保）について

質 又吉 薫 議員

安定財源確保のため国県への予算請求の基礎項目について洗い直し等の検討が必要と思われま

す。今後、住民福祉の為、又、村内の

行政区には公民館が老朽狭隘化し、

財源が必要な問題も抱えている。

その観点から質問します。本村に独立法人等の施設が存在するが、固定資産課税、あるいはそれに代わる国有資産等住所市町村交付金の対象になっているか。

答 企画課長 佐渡山安正

村内に独立法人が3施設存在します。その内大学院旧白雲荘宿舍、土地・建物9棟、宇宙航空研究開発機構、土地・建物が課税され、対象となっていない施設は固定資産税に代わる交付金の対象とはなっておりません。

質 又吉 薫 議員

大学院構内に民間資金による住居施設が建設予定されているが、予定地の賃貸料の取り扱い方や、建物施設等は固定資産税の課税対象と思うがその点をお聞かせください。

答 企画課長 佐渡山安正

住居施設は、土地及び建物は課

税対象となりますが、地方税の定めによる非課税の範囲に規定された、教育用に供する施設は課税できない。

當山君子 議員

高齢者虐待の防止に関するネットワーク体制について

質 當山君子 議員

高齢者虐待防止法第16条で市町村は、高齢者虐待防止や早期発見、虐待をうけた高齢者や養護者に適切な支援と関係機関や民間団体との連携協力が必要とされています。本村において、高齢者虐待防止ネットワーク体制が必要だが村の見解をお伺いします。

答 福祉健康課長 大城保篤

村でも従来から準備を進めておりますが、ネットワークの構築に至っておりませんので早期に体制

を整備し対応したい。

本村の要支援・要介護認定者の状況について

質 當山君子 議員

本村の要支援・要介護の認定者は何名か。

答 福祉健康課長（大城保篤）

要支援117人、要介護は367人。

質 當山君子 議員

施設介護サービスの入所希望しているが、入所が難しい、待機している方の家庭での介護状況は。

答 福祉健康課長 大城保篤

包括支援センターでの相談で介護者の現状を聴取し在宅サービスや施設の情報提供、家族介護者交流会を開催し、介護者の精神的負担の軽減を図り、悩みを共有し相談できる場を設けている。

質 當山君子 議員

在宅で介護されている介護者の

負担軽減について、どのような指導をされているか。

答 福祉健康課長 大城保篤

老人医療費助成金、寝たきり老人手当、介護用品支給事業等による金銭的負担軽減と保険制度についての情報提供、精神的負担の軽減を図っています。

億首ダムの関連事業に伴う県道104号線の付替について

質 當山君子 議員

億首ダム関連事業に伴う県道104号線付替について現在までの進捗状況お伺いします。

答 建設課長 仲嶺真季

県土木事務所長宛、県道104号線の整備事業継続について要請しており、現在も県北部ダム事務所、県北部土木事務所、沖縄防衛局に確認しております。

要請事項の県道104道線付替の進捗状況60%で道路舗装はされていない。

喜瀬武原区への説明会は9月30日県と調整しております。

長嶺律夫 議員

福祉施設の設置について

質 長嶺律夫 議員

数名で共同居住する施設、宅老所と言われております。施設設置についてどういう状況が生まれているか。

答 福祉健康課長 大城保篤

介護保険法のサービス提供事業者は恩納村で1業者が地域密着型で指定されております。今回の事業者は別で設置に関しては村が関与する立場にありません。

質 長嶺律夫 議員

周りで起きた苦情は村に行かざ

るを得ない、村独自に届出みたいなの整備はできないか。

答 福祉健康課長 大城保篤

福祉施設ではないと位置付けがあり、事前に義務付け等の権限は有しておりません。常識の部分、近隣住民への事前説明していたか否か若干問題があったように感じられます。

県では2、3日前にも事業者の方に抜き打ちの指導が入っております。

世界のウチナンチュ大会について

質 長嶺律夫 議員

円高の影響もあって外国から参加するウチナンチュも厳しい状況でいらっしゃる、支援は考えたことはないか。

答 村長 志喜屋文康

世界にネットを広げビジネス振

興を図りたいと言われており、村として海外子弟の受け入れとか、この子たちが架け橋となって連携を取りながらビジネス、それにながる交流が出来れば、むらもそのようなことを検討していきたい。

水道広域化について

質 長嶺律夫 議員

離島を含む58事業体の県内水道事業の広域化をどこまで話しあわれているか。

答 上下水道課長 古賀弘之

料金の価格は正、事業運営の安定強化を推進すると言うことで今後、検証事業を行うとの情報です。

消防の広域化について

質 長嶺律夫 議員

那覇を含め広域化から外れる状

況になっている、影響は大きいと思います。村はどうとらえているか。

答 総務課長 名城淳一

正式に離脱となりますと広域化は厳しい状況になる、関係機関と調整しながら対応は考えていると思います。

吉山盛次郎 議員

指定管理制度の運用について

質 吉山盛次郎 議員

指定管理制度において、村の指導監督は運用上の要であると思う。

条例、指定管理者との協定書、履行されているか伺います。

答 総務課長 名城淳一

基本的に履行されていると考えており、今後村民の声を聞いて改善すべきところがあればしていきたい。

質 吉山盛次郎 議員

公の施設を運用しているわけですから住民に対するサービスと利便性、その上で収益があった場合に還元する。導入運用について改善すべきところはないか。

答 総務課長 名城淳一

人材育成の寄附、イベントの協賛金とか還元は十分している。当制度の導入運用について特段改善するところはない。

質 吉山盛次郎 議員

総論的に指定管理で公の施設ですから住民中心においた視点で村が指導する。考えるべきじゃないか。

答 村長 志喜屋文康

「株式会社まえた」の運営状況について議会が調査を行っていることは承知はしている。調査後、その状況を知ることであり議員各位の情報もいただければ幸いです。

自然災害と危機管理について

質 吉山盛次郎 議員

自然災害に対する村民、自治会、事業所、学校、村当局の防災対策と、直面した時点での対応と災害危険地域に指定されている住居地の注意、啓蒙について指導が行われているか。

答 総務課長 名城淳一

本村の防災計画に基づいて自治会、学校、事業所と連携し、避難誘導など防災対策を進めております。今年度策定予定の防災計画の中で自主防災組織の設置、緊急避難対応など盛り込んでいきたい。災害危険地域に指定されている場所については防災計画書、防災マップなどは配布して説明はしますが、具体的な指導まではしてません。

議会の動き

8月

- 9日 北部市町村議会議長会理事会 総会(議長)
- 17日 北部振興会第1回総会(議長)
- 19日 金武地区消防衛生組合議会臨時会
第5次総合計画基本構想フォーラム
- 19日～9月2日
沖縄県人会創立記念式典(ペルー100周年・ブラジル85周年アルゼンチン60周年)



前兼久出身・山城善次氏の自宅での夕食会(ペルー)

- 20日 谷茶の丘夏祭り
- 22日 中部北環境施設組合 与勝工場安全祈願祭
- 24日 議会運営委員会
- 25日 恩納村議会第6回臨時会
- 28日 沖縄本島民俗芸能祭

9月

- 7日 農業委員当選証書付与式(議長)
議会運営委員会
- 9日 第7回恩納村議会定例会(16日閉会)

10月

- 3日 農業委員選任辞令交付式(議長)
- 4日 議会広報委員会
- 8日 やんばる産業まつり
- 12日 美化作業
- 13日 第5回世界のウチナンチュ大会(議長)
経済建設民生委員会
- 14日 ウンナンチュ大会
- 15日 商工会青年部設立30周年記念式典(議長)
- 16日 谷茶の丘トーカチ・カジマヤー合同祝い(議長)
- 17日 石狩市・恩納村生徒交流団歓迎セレモニー(議長)
赤間屋外運動場起工式

- 17日 中部北環境施設組合定例会
- 18日 海外子弟報告会 議会広報委員会
- 21日 経済建設民生委員会
- 24日 沖縄県町村議会議長会定期総会(議長)
副議長研修会
広報委員会
- 25日 沖縄県町村議会議員研修会・交流会
- 28日 童話・お話大会
- 31日 金武地区消防衛生組合定例会

11月

- 1日 議会運営委員会
- 2日 第8回恩納村議会臨時会
中学生フォーラム(議長)
交通安全歌碑除幕式(副議長)
- 3日 恩納村文化祭
- 6日 第6回希望ヶ丘祭り
琉歌大賞表彰式
- 10日 経済建設民生委員会
- 16日 全国町村議会議長会全国大会(議長)
- 19日 沖縄科学技術大学院大学学園設立記念式典

編集後記

広報委員会の委員として、活動して一年が経過しました。慣れない取材や文章作成で、「文章力、表現力」不足で、練り直しの連続でしたが、先輩委員の皆さんに色々とアドバイスや、指導を頂きながらの委員会活動の中、今回は初めての編集長

として、力不足ではありませんが、村民にわかりやすい記事内容を念頭に、活発な編集会議を重ね、各委員、事務局、協力のもと発行となりました。今回の110号は決算認定(村の財政、現状と課題)や、基地問題関連の意見書や、村や県に対する要請などを取り上げました。

民に親しまれ、役立つ「議会だより」をめざして、広報活動に取り組んでいきたいと思えます。朝、夕と冷え込む季節をむかえ、今年は東日本の大震災をはじめ、自然災害の多い年でありました。災害に強く、明るい村づくりを目指して、共々に頑張っていきましょう。

大城堅三

- 発行：恩納村議会
住所：沖縄県国頭郡恩納村字恩納2451番地
- 編集：議会広報委員会 電話(098)966-1199
メールアドレス：gikai@vill.onna.okinawa.jp